

商業簿記①

問題1

問1	1	2	3	4	5
	開始残高勘定	合計試算表	残高試算表	閉鎖残高勘定	繰越試算表

問2	ア	イ	ウ	エ
----	---	---	---	---

問3 合計試算表に期中取引欄を設けること
別解 仕訳帳に前期繰越として繰越試算表の借方合計と貸方合計を記入する。

問4 普通仕訳帳に売上の取引が記入されず、普通仕訳帳の合計と合計試算表の合計が一致せず照合機能の効果がでなくなる。

問5 合計仕訳

問6 精算勘定

1つにつき2点×10箇所

Net-School

商業簿記②

問題2

(借方)	損益計算書※	(貸方)
<p><営業費用></p> <p>仕 入 (96,000,000)</p> <p>広告宣伝費 (670,000)</p> <p>貸倒引当金繰入額 (110,000)</p> <p>給 料 18,000,000</p> <p>(退職給付費用) (8,260,000)</p> <p>減価償却費 (1,630,000)</p> <p>支払賃借料 12,000,000</p> <p>営業諸掛り 4,150,000</p> <p>() ()</p> <p>() ()</p> <p><営業外費用・特別損失等></p> <p>支払利息 85,000</p> <p>手形保証債務費 (5,000)</p> <p>(有価証券運用損) (10,000)</p> <p>(為替差損) (150,000)</p> <p>() ()</p> <p>() ()</p> <p>(営業外)貸倒引当金繰入額 (680,000)</p> <p>減損損失 (350,000)</p> <p>法人税等 (1,000,000)</p> <p>当期純利益 (2,000,000)</p> <hr style="border-top: 1px solid black;"/> <p style="text-align: right;">(145,100,000)</p>	<p><営業収益></p> <p>売 上 (145,000,000)</p> <p>() ()</p> <p><営業外収益・特別利益等></p> <p>受取配当金 19,000</p> <p>(受取利息) (1,000)</p> <p>(法人税等調整額) (80,000)</p> <p>() ()</p> <p>() ()</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; height: 300px; position: relative;"> <div style="position: absolute; top: 0; right: 0; width: 100%; height: 100%; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black;"></div> </div> <hr style="border-top: 1px solid black;"/> <p style="text-align: right;">(145,100,000)</p>	

[注]総ての空欄が埋まるとは限らない。

指示したように、営業、営業外・特別損益等と区分して解答すること。

桁はそろえる。そろえていない答案は採点しない。金額にカンマを打っても構わない。

商業簿記③

(借方)	貸借対照表※	(貸方)	
<流動資産>		<流動負債>	
現金	1,026,000	支払手形	2,000,000
当座預金	(2,000,000)	買掛金	(6,000,000)
受取手形	(4,000,000)	受取手形貸倒引当金	(80,000)
売掛金(含、外貨建)	(8,000,000)	売掛金貸倒引当金	(160,000)
売買目的有価証券	1,823,000	(未払金)	(30,000)
繰越商品	(8,000,000)	(保証債務)	(5,000)
(繰延税金資産)	(80,000)	(未払法人税等)	(900,000)
()	()	<固定負債>	
<固定資産等>		建物減価償却累計額	(31,500,000)
建物	50,000,000	備品減価償却累計額	(1,210,000)
備品	(1,650,000)	長期借入金	6,000,000
土地	10,000,000	長期貸付金貸倒引当金	(700,000)
投資有価証券	5,000,000	退職給付引当金	(14,260,000)
長期貸付金	1,000,000	預り有価証券	300,000
保管有価証券	300,000	(繰延税金負債)	(80,000)
()	()	()	()
()	()	<純資産>	
	(92,879,000)	資本金	20,000,000
	(92,879,000)	資本準備金	(4,000,000)
	(92,879,000)	その他資本剰余金	(0)
	(92,879,000)	利益準備金	(2,000,000)
	(92,879,000)	別途積立金	1,000,000
	(92,879,000)	繰越利益剰余金	(2,534,000)
	(92,879,000)	(その他有価証券評価差額金)	(120,000)
	(92,879,000)	()	()
	(92,879,000)		(92,879,000)

[注]総ての空欄が埋まるとは限らない。金額が0円となるときは、0と記入する。

指示したように、資産負債は流動固定に区分して解答すること。

桁はそろえる。そろえていない答案は採点しない。金額にカンマを打っても構わない。

売掛金勘定には、外貨建売掛金も含む。

* 損益計算書も貸借対照表も会計上の用語であり、簿記上の用語ではないが、問題1との関係で、この用語を敢えて用いている。

1つにつき4点 × 20箇 = 80点

会計学①

問題1

番号	正誤欄	理 由
1	○	
2	○	
3	×	1年基準が適用されるのは前払費用のみであり、未収収益・未払費用・前受収益については適用されない。
4	×	その他利益剰余金によるその他資本剰余金の補てんは、その都度ではなく、会計期間末において行う。
5	×	洗替え法と切放し法は棚卸資産の種類ごとに選択適用できる。
6	×	回収可能価額が回復した場合であっても、減損損失の戻し入れは行わない。
7	×	過年度に計上された繰延税金資産又は繰延税金負債を新たな税率に基づき再計算する。
8	○	
9	×	所有権移転外ファイナンスリース取引の場合、リース資産の償却期間はリース期間とし、残存価値はゼロとする。
10	○	

1つにつき5点 × 10箇所 = 50点

会計学②

問題2

問1

記号	用語
(a)	取得価額
(b)	貸倒引当金
(c)	金利の調整
(d)	利息法
(e)	継続適用

1つにつき5点×5箇所=25点

問2

償却原価法では、加減額を受取利息又は支払利息に含めて処理する。

6点

問3

利息法は複利計算により差額に相当する金額の配分を行うのに対して、定額法では単利計算により配分を行う。そのため、定額法は簡便法とされる。

6点

問題3

問1

連結会社相互間における商品売買その他の取引に係る項目は企業集団内の取引にすぎないため、連結財務諸表の作成上、相殺消去する。

6点

問2

支配獲得日において、親会社は株式の取得を通じて結果的に子会社の資産及び負債を取得することになる。そして、取得した資産は取得時の時価で計上するため、子会社の資産及び負債も時価により評価する。

7点

工業簿記①

問題1

問1

(第2工程仕掛品) 1,562,000 / (第1工程仕掛品) 1,562,000

問2

正常減損費

前工程費分 (62,480) 円
 加工費分 (9,680) 円
 合計 (72,160) 円

計算過程

前工程費分 $\frac{1,562,000\text{円}}{(9,930\text{個}-2,200\text{個})+440\text{個}+80\text{個}+2,750\text{個}} \times 440\text{個} = 62,480\text{円}$

加工費分 $\frac{606,430\text{円}}{(9,930\text{個}-1,320\text{個})+176\text{個}+40\text{個}+2,200\text{個}} \times 176\text{個} = 9,680\text{円}$

問3 第2工程仕掛品勘定月末残高 (530,435) 円

問4

(製 品) 1,998,435 / (第2工程仕掛品) 1,998,435

問5

前工程費分正常減損費 (62,480) 円
 加工費分正常減損費 (12,052) 円

加工費分正常減損費の計算過程

$\frac{606,430\text{円}}{(9,930\text{個}-1,320\text{個})+220\text{個}+40\text{個}+2,200\text{個}} \times 220\text{個} = 12,051.9060 \dots \dots$
 $\approx 12,052\text{円}$

問6

第2工程仕掛品勘定月末残高 (526,187) 円

問7

(製 品) 2,002,692 / (第2工程仕掛品) 2,002,692

問8

(平均) 法

1つにつき 8点 × 5箇所

1つにつき 10点 × 4箇所

工業簿記②

問題2

	賃	金	
(諸 口)	5,585,000	(未 払 賃 金)	1,175,000
(未 払 賃 金)	1,135,000	(仕 掛 品)	3,973,000
()		(製 造 間 接 費)	1,478,650
()		(賃 率 差 異)	93,350
	6,720,000		6,720,000

1つにつき 5点× 4箇所

Net-School

原価計算①

問題1

問1 キャッシュインフロー

第1年度 11,600,000 円

4年間の合計 48,800,000 円

問2 会計的利益率 7.1 %

問3 回収期間 3 年 1 ヶ月

問4 内部利益率 10.8 %

問5 収益性指数が 1.09 なので、当案の採用は 認められる

問6 貨幣の時間価値を考慮していない点。

問題2

問1 (-) 2,800 万円

問2 (+) 945 万円

問3 ① (-) 1,980 万円

② (+) 645 万円

③ (+) 765 万円

問4 正味現在価値 (+) 244 万円

正味現在価値がプラスなので、採用すべき。

1つにつき2点× 2箇所

1つにつき4点× 2箇所

1つにつき8点× 11箇所

Net-School